

佐藤 博 議員

無所属クラブ

市長の政治姿勢、政策課題への 取り組み、行財政運営等の総括

サッカー場建設について 必ず実現させるのか

問

首長は、幾ら雄弁であっても、真面目にやっていると云っても、実行し、事が成就しなければ責任を果たしたと言えない。

9月議会で、合併10周年記念事業としてサッカー場建設計画を初めて聞いたが、取り組みについて尋ねる。

(1) 議会の反応では、賛成意見はなかったが、必ず実現させる考えか。

(2) ①費用対効果、②利用対象者、利用度、③利用料の可否、特に④維持管理費

は、協議はされているのか。

(3) 議会に示す前に公表した。多くの行政課題がある中で、必要度、選択順序など、議会に諮り、決めるべきではないか。

(4) 民間企業から学がローコスト運営が徹底されているならば、今回の市庁舎の建設についての監査請求や訴訟問題には発展しなかったと考える。

市民に約束した選挙公約の政治姿勢内容、①民間企業から学がローコスト運営、貴重な税金は1円たりとも無駄遣いはしない、②情報公開、市民との対話を大切に、約束を守る市政運営、③公平・公正・透明

市民の理解・協力をいただき ぜひとも実現させたい

答 市長

(1) 市民の皆様の御理解と地域、地主さんの御協力をいただき、ぜひとも実現していきたい。

議会の賛成がなかったというのではなく、これからしっかりと計画を立て、説明をしていく。

(2) ① 競技団体にとって効率よく活動ができ、交流試合や大会の開催も可能となり、大変有意義な活動ができ、また、本市をPRできると考えている。

市民の憩いの場や地域コミュニティの活動の拠点として大きく貢献がされると思っている。

② ジュニア層、中学校・

高校の部活、企業のクラブチームなどで現在では約千名近くになっている。グラウンドゴルフを愛する人もたくさんお見えになる。

③ グラウンド使用料はいただく。県サッカー協会に指導いただく予定である。

④ 人工芝の管理が一番大変だろうと想定している。

(3) この構想を最初にお示したのは、議会である。

今後、基本計画を策定していく中で、議会の皆様にも特に財政的な問題については、しっかりとお話をさせていただく。

(4) ① 最少の経費で最大の効果を上げることが最も大事である。これからも自分の政治姿勢として踏襲をしていきたい。

② 出前講座や自治会、関係機関の総会で情報、市政の方向性を報告し、市民の意識と知識の向上に努めた。

また、ホームページで公開できる情報は全て積極的に公開をしている。

③ 各種審議会などの委員の市民公募、パブリックコメントの実施など計画の策定、評価など市民参加、協

働の充実を図っている。また、地域づくり補助金制度を創設し、まさに市民との協働で積極的に市政づくりを推進している。

④ 行財政改革は、まだ道半ばである。自主財源の確保は、市民の大変な努力により着実に財源を伸ばすことができた。

答 市長

(5) 陳情のあった団体とは、毎年11月に要望書を送り、真摯に取り組ませていただいている。

通園バスの存続については、昨年9月に公平・公正を基本にするならば27年度3月までという形で、既に議会の理解、父兄の協力もいただくとのお話もさせていただいた。全ての協議終了後、元議員の方から合併後、十四山地区は道路の整備もされず、安全に保育所まで子どもを送れないという意見が出された。このときに、少し声が大きくなってしまったことは事実であり、後でお詫びした。今後もバス存続の話があるうかと思うが、しっかりと説明していく。